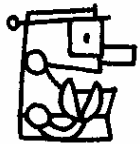


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人とかんきょう / 理解シート

かんきょう問題で、木はどんな役割^{やくわり}をしているの



空気中の二酸化炭素を酸素に変えたり、雨水を地下にためる、多くの動物にすみかやえさをあたえるなどがあるのさ。

木は、空気中の二酸化炭素^すを吸って酸素を出している

動物も植物も、呼吸^{こきゅう}で酸素を吸って二酸化炭素をはき出しています。吸った酸素で、体にとり入れた栄養をエネルギーに変えて生きています。また、生活の中で、工場や発電所、自動車を動かすなどで、石油、石炭、ガスなどが大量に燃やされて、大量の酸素が使われ、二酸化炭素が出ています。けれども空気中の酸素がなくなったり、二酸化炭素が大量にふえたりしないのは、植物のおかげなのです。

草木や海そうなどの植物は、緑の葉の中で、日光の助けをかりて、空気中の二酸化炭素と根から吸い上げた水を材料に、デンプンをつくり、酸素を出しています。

最近^{さいきん}は、地球上の植物が、酸素に変えることができる以上の量の二酸化炭素が出てくるため、空気中の二酸化炭素の量がふえてきて、そのために地球の平均気温^{おんだんか}が上がる、地球の温暖化^{おんだんか}が問題になってきています。

木は、水を地下にため、たくさんの生き物の命を支えている

植物や動物は、体内で水が栄養分やいろいろなものを運んでいるから、生きて活動^{かどう}することができ、水がなければ死んでしまいます。

地下の木の根のまわりや、落ち葉^{ふようど}でできる腐葉土^{ふようど}には、雨水をためておくはたらきがあります。たまった地下の水は、養分をとかしこみながらゆっくり移動して、川水になり、海に流れ、たくさんの生き物に養分を運んでいます。そのため、山に木があると、こう水や山くずれがなく、川や海で魚がよくとれるといわれています。

さらに、1本の木が、根、みき、葉などで、多種類のこん虫や小動物、きのこなどの植物に、すみかや、えさをあたえています。

夜は、木も呼吸しかしていないから、酸素を吸って二酸化炭素を出しているんだよ。

